

「中間取りまとめ」(R7.6)で検討課題とされた施策の今後の方向性（概要）

① 図柄ナンバープレート（ふるさと版）

図柄ナンバープレート(地方版) 例
(熊本ナンバー・くまモン/飛鳥ナンバー・朱雀)



背景・目的

- ・「走る広報大使」として地域の魅力を発信する「地方版」は、78地域で導入され、広く定着。寄付金により地域振興に寄与
- ・一方、当該地域の車両のみを対象に交付されるもので、全国の利用者が自由に選択できない
→ **応援したい地域の地方版図柄を自由に選択できる「ふるさと版」を創設し、地域振興を更に促進**

基本方針

- ・シンプルかつ持続可能な制度設計
- ・**小規模・試行的に制度導入**し、運用上の課題・効果を検証の上、本格導入を目指す
- ・既存の制度・システムを可能な限り活用し、**早期に制度開始**

対応の方向性

- (1) 交付対象地域 地域を限定せず、**全国で交付**
- (2) 交付対象図柄 **2-3種類程度から開始**し、段階的に全種類まで拡大を目指す
図柄は**交付実績や国民アンケートにより今後選定**
- (3) 費用負担 現行と同様、ユーザーが交付手数料により負担。寄付金は交付対象図柄の地域。寄付の最低額は今後決定
- (4) 対象標板 **自家用の中板**（乗用車など）。事業用は新たな制度的受け皿を今後検討
- (5) 交付代行者 交付を受けるユーザーの地域の代行者が交付
- (6) 申込～交付の期間 製造者の負担を考慮し、現行の期間（10営業日）よりも延長。合理的な期間を今後検討
- (7) 開始時期 遅くとも**令和11年度までの試行導入**を目指す

② 人気がある希望番号を取得しやすくする方策

背景・目的

- ・ナンバープレートの好きな番号を選べる「希望ナンバー制」において、人気の番号は**無料の抽選制**。最大で30倍の抽選倍率も
- ・人気の著しく高い番号の抽選倍率を下げることで、番号を選択したいというユーザーのニーズに応えることが必要

基本方針

- ・ユーザーへの情報提供の充実など、**可能な取組から速やかに実施**
- ・制度の見直しや大規模なシステム改修等を必要とする方策は長期的な課題として引き続き検討し、実験的に経済的手法を試行導入

対応の方向性

- | | | | |
|--|-----------------------|---|--|
| 短期・中期的な取組 | | } | 早急に実施
（システム改修を要するものは令和9年度を目指す） |
| ・抽選倍率等の ユーザーへの情報提供の充実
・ 抽選対象番号の見直し
（倍率1倍以下の番号の除外等） | | | |
| ・著しく高い倍率となっている番号について、 取得対価を求める仕組みの試行的な導入 を検討 | | } | 令和8年度中に試行に向けた制度設計 |
| (1) 収受方法 | 寄付金による | | |
| (2) 収受時期 | 抽選参加料は無料とし、当選時に支払 | | |
| (3) 対象番号 | 著しく高い倍率となっている番号と地域に限定 | | |
| (4) 金額 | 定額とし、倍率低減効果を踏まえ決定 | | |

長期的な取組

- ・当選個数の増加の前提となる、**番号の再利用を含む抜本的な番号払底対策**を検討